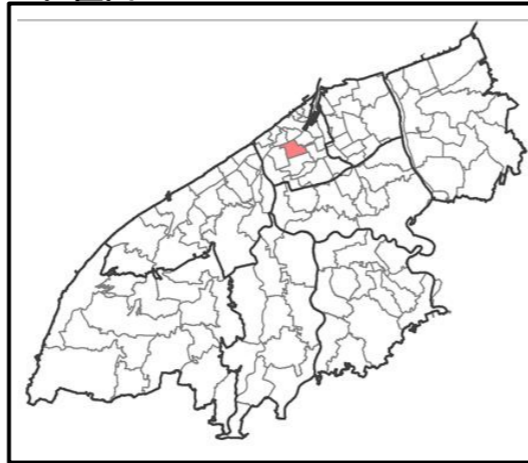


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

近江1~3丁目		
上近江1・2丁目		
上所1~3丁目		
上所中1~3丁目		
下所島		
下所島1・2丁目		
新和1~4丁目		
東幸町		
堀之内		
堀之内南1~3丁目		

●位置図

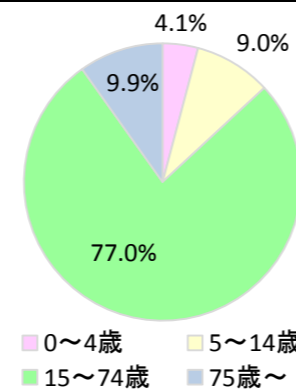


●施設・団体

市役所・区役所等	南出張所
警察・消防	新潟東警察署
消防団	中央方面隊 鳥屋野分団
水防倉庫	—
一時避難場所	上所島公園
広域避難場所	—
主 利 な 用 要 施 配 設 慮 者	幼稚園・ 保育園 愛泉幼稚園／野のはな保育園、ロータリー保育園、エンジェル保育園 高齢者 福祉施設 晴和会上所園 障がい者 福祉施設 エンジェル児童療育教室、手楽来家(てらこや)

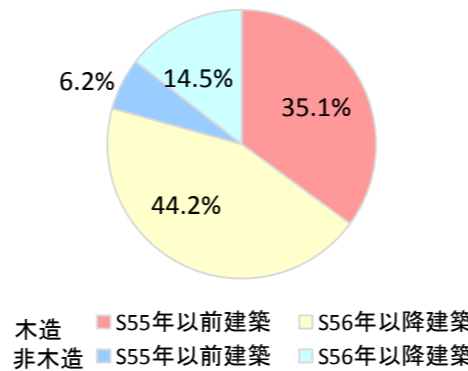
●人口

総人口	13,968人	地区の割合	市の割合
0~4歳	576人	4.1%	4.0%
5~14歳	1,256人	9.0%	8.5%
15~74歳	10,760人	77.0%	74.6%
75歳~	1,376人	9.9%	12.9%
65歳以上人口	2,812人	20.1%	26.0%
世帯数	6,622世帯		
一世帯あたり人口	2.1人/世帯		2.5人/世帯
人口密度	6,863人/km <sup>2</sup>		1,108人/km <sup>2</sup>
昼間人口	12,726人	夜間の91.1%	



●建物関連指標

総棟数	3,699棟	地区の割合	市の割合
木造			
S55年以前建築	1,298棟	35.1%	44.2%
S56年以降建築	1,635棟	44.2%	46.7%
計	2,933棟	79.3%	90.9%
非木造			
S55年以前建築	231棟	6.2%	3.4%
S56年以降建築	535棟	14.5%	5.7%
計	766棟	20.7%	9.1%
S56年以降建築物	2,170棟	58.7%	52.4%



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所	標高 (m)	階 数	避難可否			
			地震	津波	洪水	土砂災害
[ヒ][ツ]上所小学校	0.8	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ]新潟南高等学校	1.8	4	○	—	2階以上	—
[ヒ][ツ]鳥屋野中学校	0.4	4	○	3階以上	2階以上	—
[ツ]南地区センター	0.3	4	—	3階以上	—	—

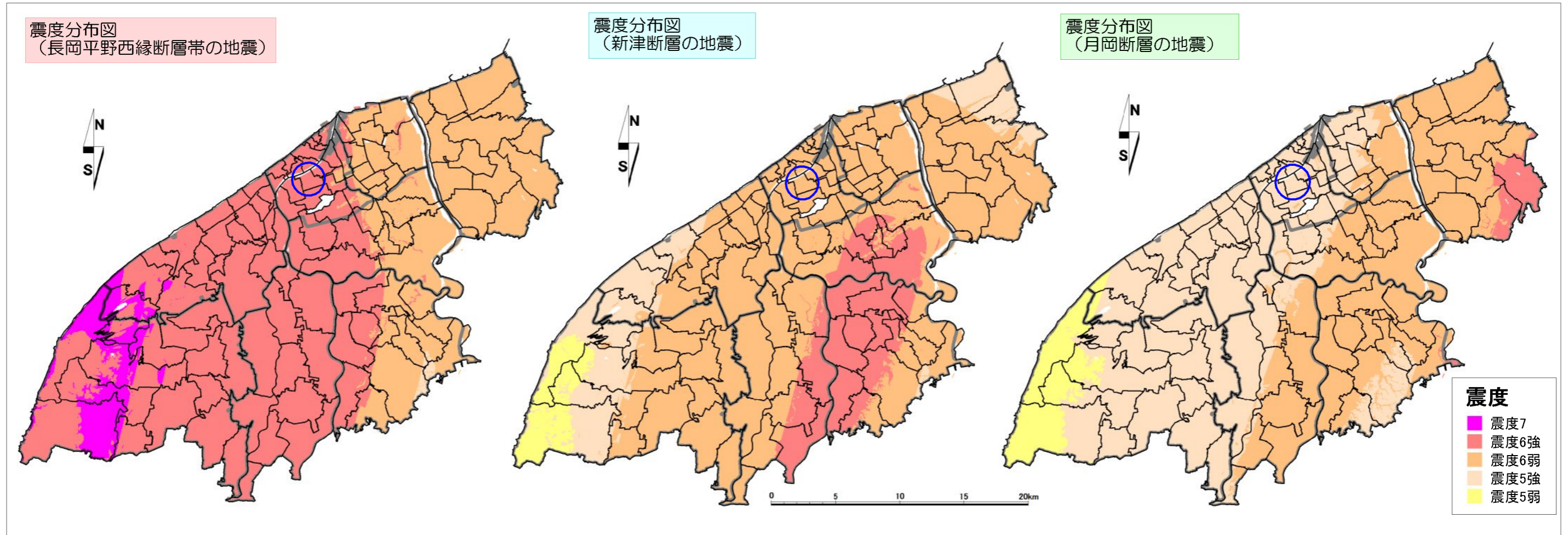
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所	標高 (m)	階 数	避難可否			
			地震	津波	洪水	土砂災害
[ヒ][ツ]関屋小学校	2.6	4	○	3階以上	全階可	—
[ヒ]新潟高等学校	2.8	4	○	—	全階可	—
[ヒ][ツ]関屋コミュニティハウス	0.5	3	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]鏡淵小学校	0.9	3	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ]新潟商業高等学校	0.2	4	○	—	2階以上	—
[ヒ]白新コミュニティハウス	0.6	2	○	×	2階以上	—
[ヒ][ツ]白新中学校	1.3	4	○	3階以上	全階可	—
[ヒ][ツ]白山小学校	1.3	4	○	3階以上	全階可	—
[ヒ]白山コミュニティハウス	1.2	3	○	—	全階可	—
[ヒ][ツ]南万代小学校	1.1	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]総合福祉会館	0.9	5	○	4階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]紫竹山小学校	0.8	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ]北越高等学校(体育館)	0.3	2	○	—	2階以上	—
[ヒ][ツ]駅南コミュニティセンター	0.1	3	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]上山小学校	0.3	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]上山中学校	0.1	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ]上山コミュニティハウス	-0.4	2	○	×	2階以上	—
[ツ]更生保護施設 新潟川岸寮	1.7	3	—	3階	—	—
[ツ]市役所(本館)	1.5	7	—	5階以上	—	—
[ツ]社会福祉法人 新潟慈恵会 白山やすらぎ	1.4		—	3階	—	—

避難の可否(災害ごとに表記):開設する施設を「○」・避難可能な階数、開設しない施設を「—」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

地震・津波	地区の大部分が軟らかい地盤の上に分布するため、大きい地震の時には、強い揺れや液状化の可能性がある。特に、かつて水田として利用されていた地域では液状化の危険性は高い。 津波による浸水は、地区のほぼ全域で想定されている。
水害・土砂	阿賀野川の洪水、信濃川下流の洪水及び鳥屋野潟流域の洪水によって、浸水の可能性がある。特に、信濃川下流の洪水では、地区全域の浸水が予想される。



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年  断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。  月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上  断層の活動性 0.4m/千年程度

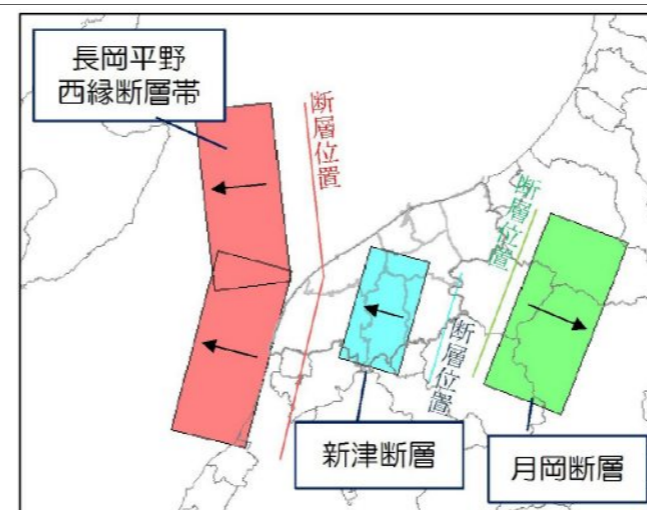
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

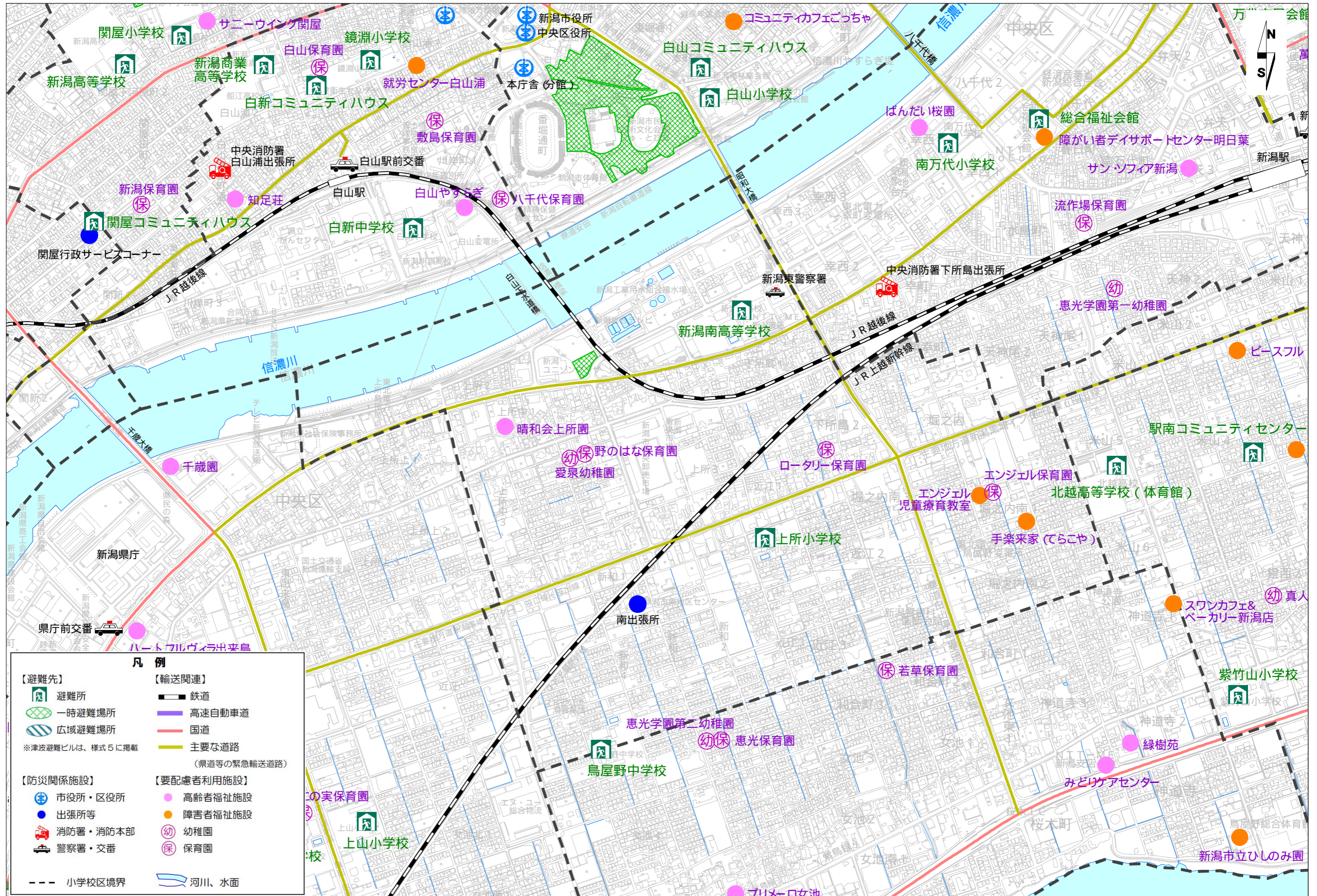
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。

様式3 防災地図

上所小学校区



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



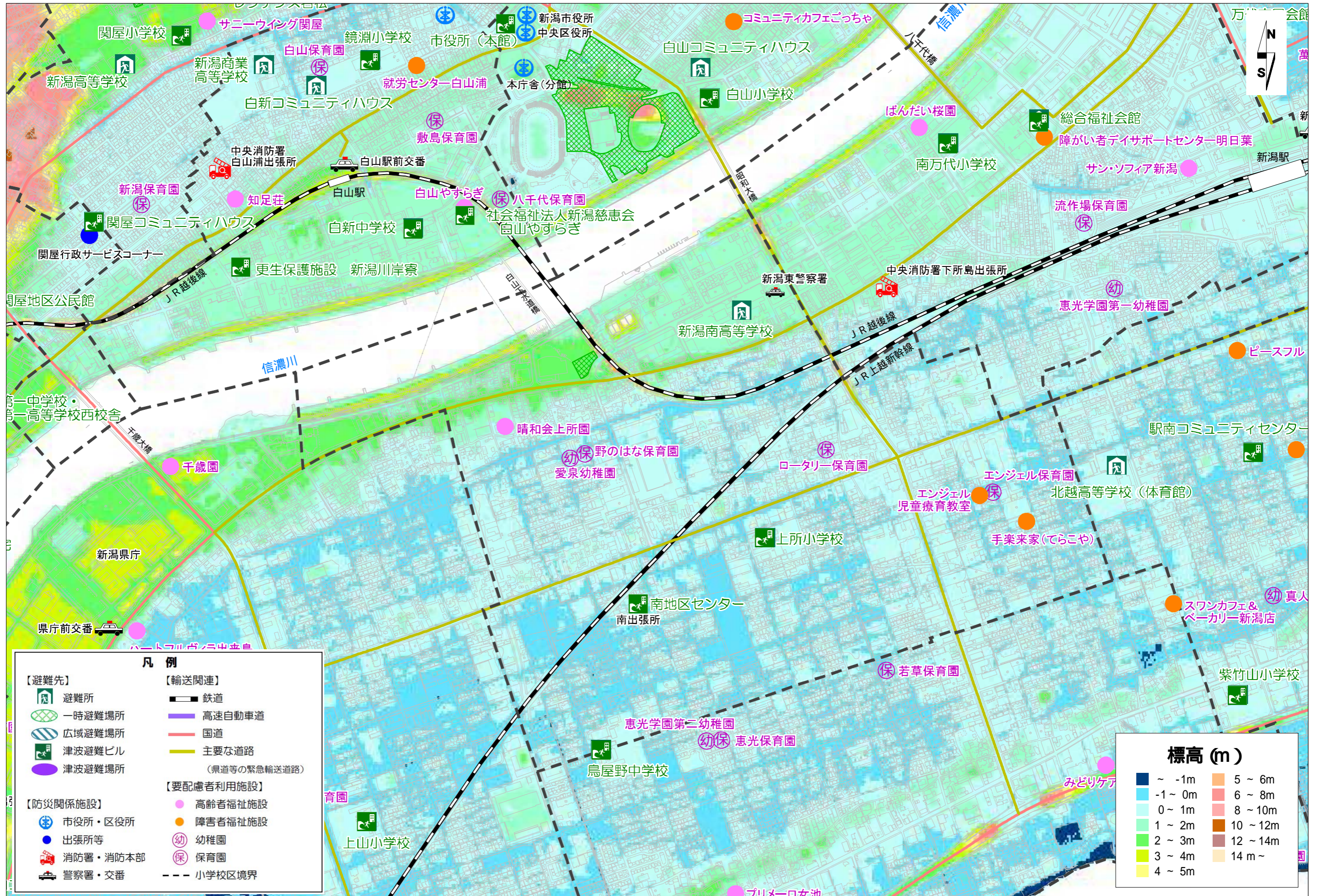


【出典】 航空写真(平成26年4月)



様式5 標高分布図

上所小学校区

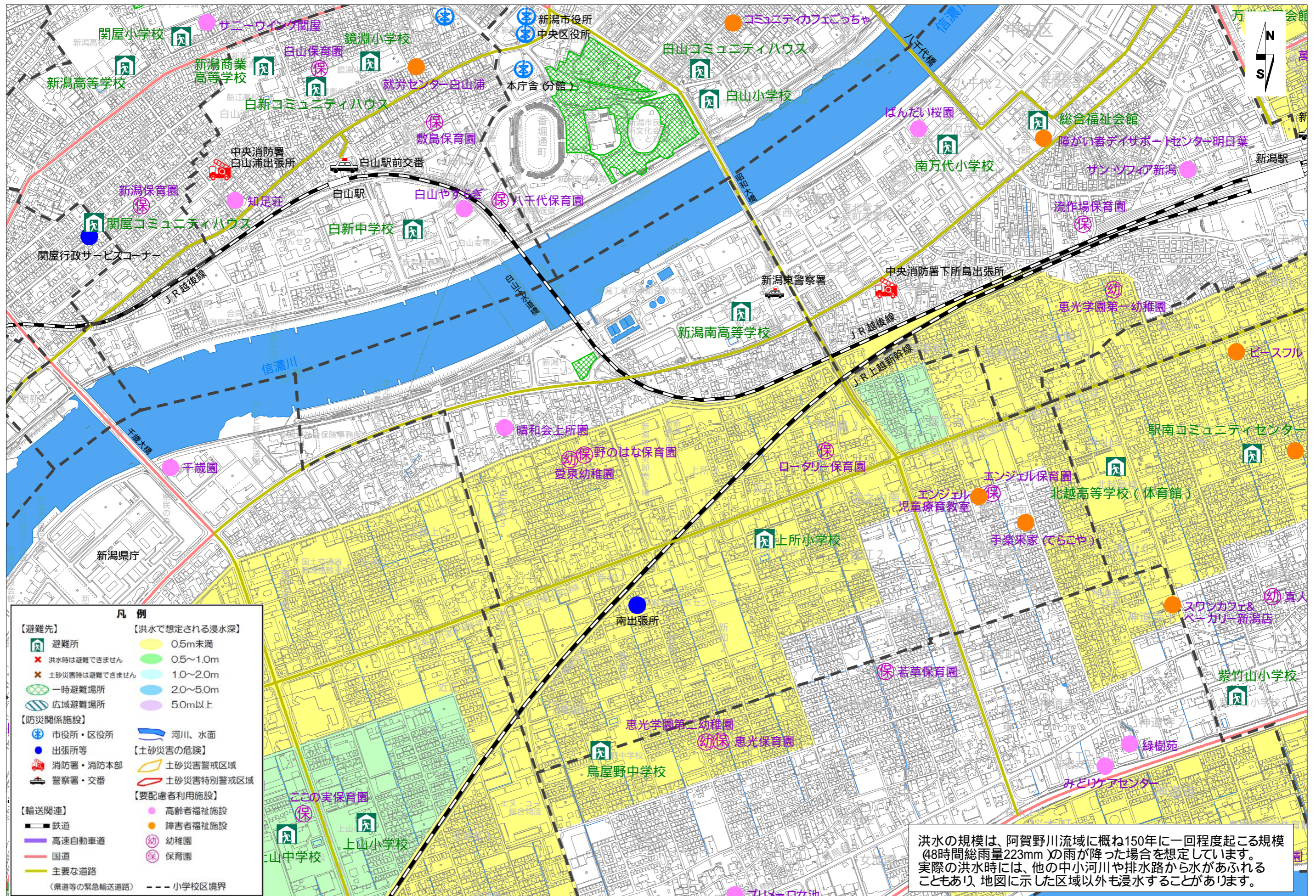


【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

上所小学校区

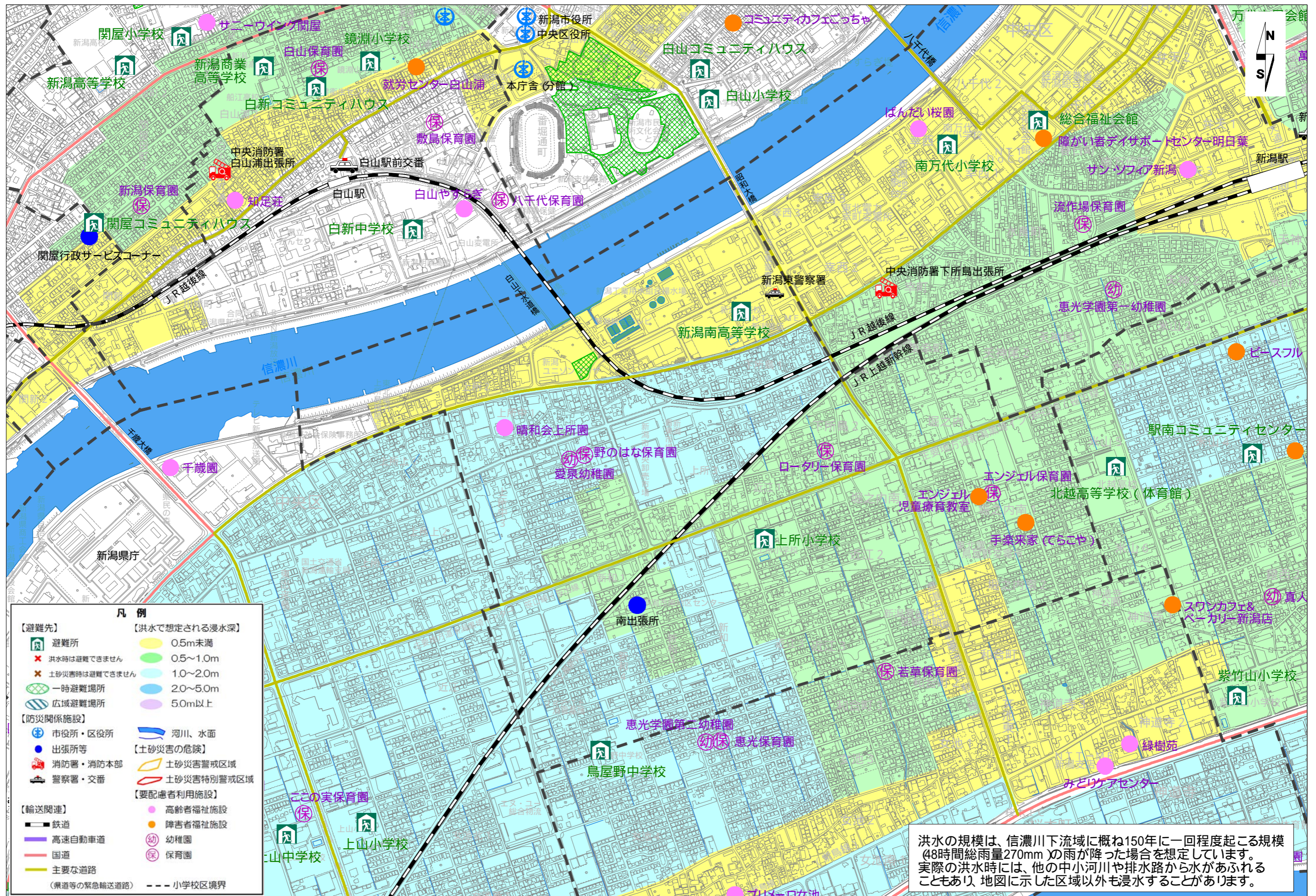


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)



様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

上所小学校区

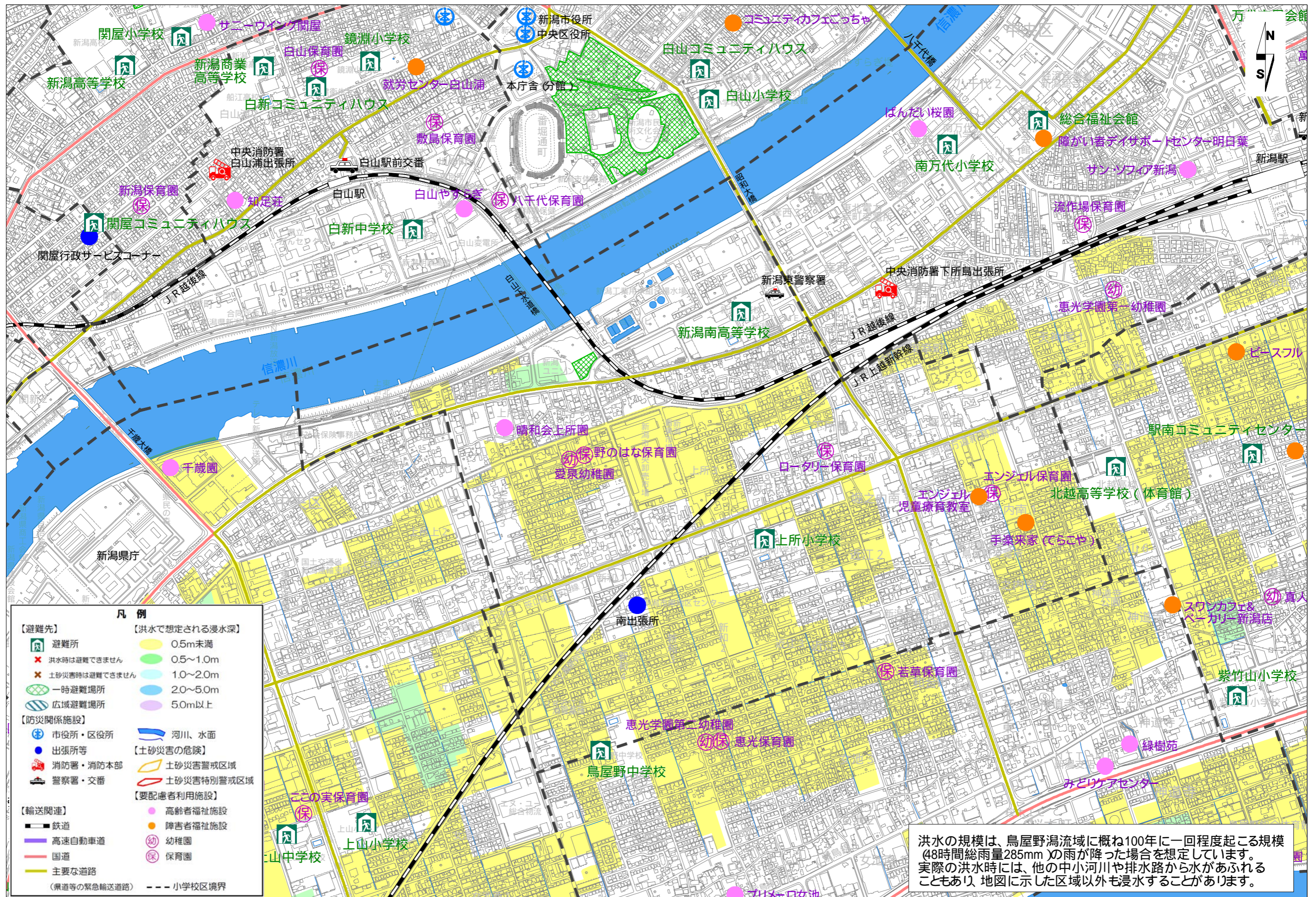


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)



様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路）

上所小学校区



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路浸水想定区域(新潟県,平成18年8月25日)

0 100 200 400 600 800 1000m